

国語科学習指導案

指導者 藤原 淑衣

1 日時 令和元年 10月8日(火) 5校時

2 学級 3年2組 男子17名 女子14名 合計31名 東校舎2階3年2組教室

3 主題 単元名 「3 状況の中で 新聞の社説を比較して読もう」
中心学習材 「新聞の社説を比較して読もう」(光村図書「国語3」)
A「和食, 無形文化遺産に もっと魅力を味わおう」
B「無形文化遺産 和食の真価は何か」

4 主題について

本単元では、教科書にあるAとB二つの社説を読み比べる活動を行う。新聞記事の内容は大きく分けて「報道」と「論説」がある。社説やコラムは「論説」にあたり、事例を挙げて意見・主張を述べることを主眼とした記事であり、明確に書き手の意図・意見・主張が提示されている文章である。

新聞記事の読み比べをする言語活動は、小学校でも学習してきており、また中学二年生でも「新聞記事を比べる」で書き手の視点の違いや事実の解釈の違いによって表現が異なることを学んでいる。

社説を比較して読むことで、正確に情報を取り出す「読み」だけでなく、論理の展開に着目させ、思考する「読み」や自分の意見を形成する「読み」へとつなげていきたい。まず、社説を用いて内容や主張などをしっかりと読み取らせ、その後、主張を支える事実の選び方や取り上げ方にどのような違いがあるのかを比較させる。これが単元を貫く言語活動となる。比較の観点としては、「どちらかにしかない要素」や「段落構成の仕方の比較」、「タイトルのつけかた」「例の取り上げ方」などが挙げられる。内容をおさえたいうえで、読み比べたものについての評価や検討を行わせたい。最終的には、主張と根拠の関係や、論理の展開についての考えを意見文としてまとめさせる。

子どもたちに考えさせる場面においては、個人内対話、グループ内での交流を経て、各人の思考が深まるようにするため、場の設定、意見の発表に終始することのないよう、交流における思考の「可視化」を工夫したいと考えている。

本単元の学習を通して、複数の文章を読み比べながら、それぞれの特徴と類似点とを読み解いたり、主張と根拠の関係性に気付いたりすることで、論理の展開をとらえることが書き手の意図につながることを気づかせたい。今後、社説や論説文を読む際や、日常場面での「読み」においても活用できる力を身に付けさせたい。

5 本時の達成目標

社説を読み比べ、論理の展開についてその違いや効果を捉えることができる。

6 評価場面での生徒の記述例

【読む能力】

おおむね満足 B	十分満足 A
Bの社説は、無形文化遺産登録の経緯や食文化をめぐる課題を踏まえながら、和食の真価を見直そうという希望が書かれている。論理の展開が時間に沿って書かれているのでわかりやすいと思った。	Aの社説は、和食が無形文化遺産になったことを評価し、自分たちでさらに魅力を伝えたり守ったりしていこうと呼びかけている点がすばらしいと思った。さらに、主張と相反する事実を述べることで主張に説得力を持たせている点もいいと思う。私も真似して書きたい。

7 振り返りの場面での生徒の記述例

今日は、社説の比較を通して、構成や論理の展開によって、わかりやすさが違ってくると感じた。見出しの工夫、主張の書き方、論理の展開の仕方、使う語句・文末表現の仕方でも相手にどのように伝わるかは変わってくる。自分が意見文を書くときに、自分の意見を支える根拠の示し方や反論なども工夫して書くことで、相手に伝わる文章が書けるようにしたい。

8 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点 評価の観点・方法 ◆教材・教具等
導入 5分	1 前時の復習を行う。 2 本時の内容を捉え、学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【主体的】 課題提示後に該当部分を全員で音読し、自分の立場を明らかにする。 </div>	1 前時ご整理した内容について、学習シートを見ながら確認する。見出し、主張、論理の展開、表現語句について ※特に論理の展開について抑えてから課題を把握させる。 2 本時の課題を確かめ、学習の見通しをもつ。学習シートで確認する。課題解決の手順は手引きで示す。 ※【手引きの内容】 ①自分の立場を明らかにする。②国語班で交流する③交流したことをもとに、自分の考えをまとめる。
展 開 40分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 2つの社説のわかりやすさを指摘しよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 第1ステップ 3 課題を追究する(個人)。 交流座標軸で各社説の論理展開についての自分の意見の位置を示し、意見と根拠を挙げる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 第2ステップ 4 課題の追究(国語班(4人グループ)) 国語班で各社説の論理展開について自分の意見とその根拠を話し合う。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【対話】 ①自分の考えを話す→②質問や意見を話す→③グループの中で話題になったことをまとめる。一つにまとめるのではなく、話題になったことを記録し、多様な考えを出させる。 </div>	3 自分の考えを説明させる際は、根拠を明確にして述べさせる。交流座標軸プリントは、グループでの話し合いの際に、生徒の思考を可視化するために用いる。 ◆学習シート 4 グループでの交流の進め方を確認し、交流させる。役割の確認→司会、記録、計時、発表係はあらかじめ決定しておく。
	5 国語班(4人グループ)で交流したことを代表生徒が発表する(全体)。 ラストステップ 6 本時の課題のまとめをする。 ○どちらの社説の論理展開がわかりやすかったかについて、根拠を明確にして書く。 (1) 自分の考えを書く(個人)。 (2) 発表する(全体)	5 国語班で交流された意見を全体で共有し、考え方を広げられるようにする。 6 これまで比較検討してきた内容を基にして、評価し、学習シートに記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 6【読む能力】 課題に対する自分の考えを、根拠を明確にしながら文章にまとめることができる。(学習シート) A:特徴や効果などについて、具体的な根拠をあげ、評価している。※根拠を明確にして考えることができればよし。どちらの社説を評価するかは問題としない。 C:書き方がわからない生徒には、ステップ2に立ち返って、根拠に着目させる。 </div> 6 数名に発表させる。自分が書いたことと比較しながら聞かせる。 ◆教師側で選出し発表させる。
終末 5分	9 学習活動を振り返る(個人)。 10 次時の予告をする。	【リフレクション】 本時の学習で気付いたことや他の人の意見から参考になったこと、その他新たに浮かんだ疑問点や今後生かせそうなことを振り返らせる。 ◆学習シート

9 指導と評価の計画

3 年 国 語		単元名 新聞の社説を比較して読もう	総時間 5 時間扱い
学習指導要領の指導事項		単元の目標	
<p>読むこと (ア)論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 (ウ)文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する。 (エ)社説の内容を読んで、考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。</p> <p>書くこと (イ)文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。</p>		<p>① 二つの社説を比較して読み、論理の展開や表現の違いを捉えることができる。 ② 書き手の論理の展開についての意図を捉え、書かれた内容について、自分の意見をもつことができる。 ③ 語感を磨き、語彙を豊かにし、文章の読み取りや自分の表現に生かすことができる。</p>	
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)	
1	<p>教材の社説を読み、言葉の意味を調べ、二つの社説の話題を確かめる。 学習の見通しをもつ。 「社説」とは何かを知る。 漢字や語句の文脈上の意味を理解し、社説A、Bの話題を確かめる。</p>	<p>関 和食への興味・関心を持ち、記事の内容を理解しようとしている。 読 「社説」について知り、記事のおおまかな内容を捉えることができる。 言 意味のわからない言葉などを調べ、文脈上の意味を確かめ、話題を理解している。</p>	
2	<p>二つの社説の内容について、観点を立てて二つの社説の共通点、相違点を整理する。</p>	<p>関 二つの社説の共通点・相違点を見つけようとしている。 読 序論、本論、結論をとらえ、各社説の内容を捉えている。 「見出し」「主張」「論理の展開」「表現・語句」の観点ごとにその特徴をまとめている。</p>	
3 (本時)	<p>社説を比較し、論理の展開について特徴や効果を評価する。 読み比べた社説について、二つの社説の特徴、効果などについて、根拠を明確にして、自分の意見を述べる。</p>	<p>関 各社説を読み比べて内容を捉え、その論理の展開や表現の違いを評価しようとしている。 読 文章の論理の展開のしかたを捉えて、内容を的確に理解し、自分の考えをもつ。</p>	
4	<p>論理の展開を工夫し、「和食」や「食」について400字程度の意見文にまとめる。 「和食」や「食」について興味をもったことを条件にしたがって書く。</p>	<p>関 二つの社説を読んで得た考え方や文章構成、段落の配列の論じ方の工夫を生かして意見文を書いている。 書 条件に従って、本論の展開を工夫し、根拠が明確となるよう説得力のある意見文を書いている。</p>	
5	<p>学級で意見文を交流し、学習の振り返りをする。</p>	<p>関 社説の論じ方を生かして構成した文章を評価できる。</p>	